

経済倶楽部便り

◆東京◆ 「講演もいいが、ラジオも楽しみ」という方が結構おられます。NHKのラジオ深夜便（第一、FM、国際放送）は中高年ターゲットにしてすでに「老舗」の風格ですが、このところ人気づいてきたのがTBSの「文化系トークラジオLife」です。放送はまだ月末の日曜深夜ライブ一回のみ。個性派若手論客の自由なトークはまた違った視角を提供してくれます。

3月の講演会は、丹羽宇一郎氏（前中国大使・元伊藤忠商事会長）、中岡望氏（東洋英和女学院大学教授）、三戸岡道夫氏（作家、元協和銀行副頭取）、川本裕子氏（早稲田大学大学院教授）、原田泰氏（早稲田大学大学院教授）をお招きします。

新会員を紹介します。瀧口勝行・国際経済フォーラム代表。
（塚田 紀史）

◆中部◆ 27年ぶりに名古屋駅から蒸気機関車（SL）が白煙とともに発車。沿線には2日間の実験走行で4万人の人が詰めかけました。このところイベントの乏しい名古屋圏では久々の明るい話です。「魅力ある名古屋作り」に頭をひねる河村たかし市長の音頭取りで実行されたイベントですが、総費用は約4000万円。SL（C56型）の要員も、今回はJR西日本からの借り物。計画のそもその背景には第三セクター、名古屋臨海高速鉄道の経営再建策があったと言われています。2日間のイベントとしては盛り上がりましたが、煙を嫌がる沿線の声も聞かれ、通常運行にはいくつもの壁がありそうです。もともと4月27日に任期満了、市長選を控えている河村市長にはいい話題作りになったのかもしれない。

3月の定例講演会は、泉谷渉・産業タイムズ社長、中野剛志・元京都大学大学院准教授、吉崎達彦・双日総合研究所副所長を予定しています。
（日暮良一）